

公表

事業所における自己評価総括表(放課後デイサービス)

○事業所名	preseed			
○保護者評価実施期間	2025年 1月 14日 ～ 2025年 2月 10日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名 (世帯数 : 14)	(回答者数)	13名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 14日 ～ 2025年 2月 10日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 21日			

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・多様な専門性を持つ職員が支援を行う	・児発管、児童指導員、指導員は保育士、小中高教諭、強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）修了などの専門的な視点による支援を実施することができます。	・子どもたちの特性への理解を深め、職員間での連携を高めることで、より支援の質を高める事ができるように取り組んでいます。
2	・活動内容報告の充実	・HUGで活動の様子を個別に写真と文章により発信している。 保護者からのコメントの返信があったりする事もある。	・季節行事の活動や体験活動などをInstagramを活用してその日の様子を写真や動画で発信しています。
3	・体験活動の取り組み	・切り絵師の方に魚の原画を描いて頂き塗り絵体験を行いました。集中力といきいきとした表情が印象的でした。 ・専門の木工屋さんを講師に迎え木工教室を開きました。真剣に話を聞き集中した作業により個性あふれる作品ができました。 ・からいも植えや収穫する体験を通し土にふれ、芋の土の中での生長を感じました。他の野菜にも関心を広げることができました。	・日常体験しない取り組みを行い、感性の形成を支援できるように取り組みます。

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・HPを作成していない為Instagramにより活動や行事内容を発信している。	・公表すべき資料等は事業所の入口横などに掲載し周知している。	・今後HPを検討します。
2	小中学校、支援学校との共通認識	・小中学校、支援学校は必要に応じ連絡を取り合い情報の共有を行っている。	・今後は直接情報共有する場を作り共通認識を深められるような取り組みを検討します。
3	保護者会	・保護者会は行われていない。	・今後はペアレント・トレーニングの実施や子どもたちの様子を参観できるよう保護者会を検討します。